

製本のススメ

Vol. 182

「暑さ寒さも彼岸まで」連日の猛暑も少し和らいできました。うっかりとエアコンの下で寝てしまい夏風邪を引いた方もいるのではないのでしょうか。最近はこちらはちょっと咳をただけで 周りが避けて通りますね。コロナじゃありませんと名札を付けたいくらいです。一日も早くワクチンができるとうれしいですね。

今回は**規格外**の話し（3回目）です

製本をするにあたり 工作機械は主に規格サイズになるよう対応しています。一般的に**製本界での規格サイズはA4（縦）型～B6（横）型まで**で、A4横長以上やA6サイズ以下は**規格外**という扱いですので、割増料金の対象や加工会社によっては製本不能という場合が有ります。

同様に冊子の厚みにも加工条件があり **中綴じ冊子では5mm程度**（針金容易に通る厚み）**並製本では2ミリ～30ミリ程度**（容易に無線綴じできる厚み）と認識してください。それ以外の場合には 加工会社へ問い合わせをして頂いた方が安全です。あくまでも厚みと大きさが加工の条件ですので一概にページ数の大小ではありません。

上製本では様々な条件が重なるためサイズ基本はB6で本文の厚みは3ミリ～40ミリ程度です。表紙貼り加工・糸綴り加工・ミシン綴り加工・製函・さらに本体の加工と各分野で加工規格があり一概に規格サイズというとならB6になります。これについては 次回183号でお話させていただきます。

規格外と言っても加工できないわけではなく 所々手作業が入れば製本加工の可能な場合も多いので時間とコストを相談しながら 顧客のニーズに対応できるように調整していきましょう。余談ですが【デザインのひきだし】という冊子（ムック）41号に、ちょっと変わった製本スタイルを提案させていただきました。ご興味のある方は覗いてみてください。



Tea break

マスク生活が長くなるにつれ 関連のグッズも充実してきました。特にマスクケースは様々な物が出回っています。外出先での飲食時など 外したマスクをテーブルの上に置いたままというのはマナー的にも問題です。仕舞うのは抵抗がありませんが、それを出して また付けるとなると少々周りの目も気になります。ハンカチ・ティッシュと並んでマスクケースが定番になる日も近そうですね。ちなみに**井関製本ではオシャレなマスクケースを Facebook で公開中!**で11月3日（祝）には、マスクケースのワークショップを開催します。

弊社 HP は www.isekiseihon.com

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本